

2016年10月号(第67号)
発行/企画 社協・編集会議

社協

とつか

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/

10月1日スタート

赤い羽根共同募金運動が始まります!

共同募金 PR 大使
野毛山動物園の
フサオマキザル
「マコト」



今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。
昨年度、戸塚区では皆さまのご協力により**24,900,484円**
集まりました。ご協力ありがとうございました。

共同募金は、地域福祉の推進を図るため、皆さまからの募金
(寄付金)を活用して、福祉施設や福祉保健活動団体が実施す
る様々な事業を支援しています。

★ミニ知識 募金にはどのような方法があるの?

- ①戸別募金：地域の各家庭へ募金を呼びかけています。
- ②街頭募金：人の集まる場所で募金を呼びかけています。
- ③法人募金：企業等へ寄付を依頼しています。
- ④職域募金：職場での募金を依頼しています。
- ⑤学校募金：学校において募金を呼びかけています。



過去5年間の募金実績

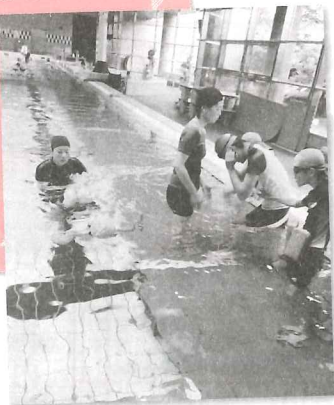
年度	募金総額 (単位:円)
23	25,088,155
24	24,156,252
25	24,777,028
26	24,923,399
27	24,900,484

共同募金の配分を受けて 活動している団体を紹介します

その1

つばさの会

つばさの会は、視覚障害児がスポーツをする場です。体力の維持やスポーツ振興、体を動かす楽しみを知ってもらうことを目的に、月に1回横浜市内のプールを利用し、指導者による水泳教室を行っています。今後も継続したプールの活動と、子どもたちの成長に合わせたイベントを行っていきます。



ねむのき会

ねむのき会は、地域の福祉を大切にしながら会食会と配食を行って20年目に入りました。会食会は、高齢者が地域の人達と一緒にクイズ、体操、歌など楽しいひと時を過ごし大変喜ばれています。配食は、1回につきお弁当を140食作り給食ボランティアと定期訪問員が連携して、高齢者を温かく見守っています。募金が、地域の人々を支えている貴重な財源となっています。



共同募金の配分を受けて 活動している団体を紹介します

その2

戸塚第二地区

戸塚第二地区では、子育て支援事業「にこにこキッズ」を開催しています。毎月第1火曜日に、未就園児とその保育者が大勢集まります。そこでは、みんなで歌や手遊び、天気が良ければ散歩をします。また、その月にお誕生日を迎えるお子さんには、手形をとったカードをプレゼント！お母さん方にも交流の場として喜ばれ、スタッフと共に楽しい時間を過ごしています。



柏尾地区

子育て支援
「ハートぽっぽ柏尾～じゃがいも掘り～」
去る6月17日、今年も柏尾町にお住まいの方の畑にじゃがいも掘りに行きました。親子で普段と違った体験をし、喜ばれています。この日の為にジャガイモを植えてくださっている地域の方に感謝です。



下倉田地区

下倉田地区の活動は多くの愛（共同募金）に支えられて成長してまいりました。高齢者食事会（なでしこ）をはじめ各種サロンや男性ボランティアの会等……。ほら！今日もまた、皆さんの弾む声が聞こえてきましたよ。



ありがとうシール
受配団体・施設の「ありがとう」の気持ちをシールにして、PRしています。

連載

福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと vol.5

「キラキラ輝く毎日」

一仕事内容を教えてください

第2しもごうは、ハンディキャップがある方が地域で暮らすための支援をしている作業所です。日中活動の生活支援として、作業（紙すき、さをり織り等）、散歩などをしています。

一なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか

保育士を養成する学校に通っていた際に実習で作業所に行き、利用者さんが個性的で魅力を感じました。（甘糟所長にあこがれて・・・）

一仕事の魅力を教えてください

利用者さんも職員も個性的な面々なので、活気があります。一人ひとりの気持ちや得意なことなどを活かし、うまくできたことが実感できる時、この仕事にやりがいを感じます。また、自分がこれだと思っても、利用者さんそれぞれに違う方法があることを発見できると、改めて新鮮な気持ちにさせられます。

一地域との交流はありますか

月に1回、近所の保育園との交流をしています。さをり織りをしたり、おにぎりを持って公園に行ったりしています。また、地域にしもごうがあることを知ってもらう機会として、ファミリーレストランで食事をしたり、近所に買い物に行っています。

一「社協とつか」読者へメッセージをお願いします

明るくてにぎやかな職場です。楽しい雰囲気の中、過ごしているので、ぜひ、遊びに来てください。また、ホームページ（<http://www.shimogou.com/>）もご覧ください。

NPO法人活動ホームしもごう
地域作業所 第2しもごう



みやもと ひろし

主任支援員 宮本 洸さん（27歳）

お知らせ

戸塚区社協 障がい福祉分科会で作成した「まちものがたりDVD」好評貸し出し中！

「まちものがたり」は、知的・身体・精神障がい者の暮らしや想いを映像にしたものです。

町内会や団体、個人などで啓発・研修等を検討している方は、ぜひ活用ください。（放映時間は、15分程度です。）

また、専門機関による出前講座も行っていますので、窓口（TEL 045-866-8434）までご連絡ください。

お知らせ

障がい者が想いを発信する「障がい福祉シンポジウム」を開催します！

日時：平成28年12月7日（水）
13:30～15:30

場所：戸塚公会堂 講堂

内容：基調講演、作業所の物販等
今年のテーマは「就労」です。

平成28年度 戸塚区社会福祉協議会 事業計画ダイジェスト

戸塚区社会福祉協議会は「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」に向けて取り組んでいます。

重点推進項目 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進

個別の生活課題の解決を通じた地域づくりという地域支援の取組を進めるため、地域・地域ケアプラザ・区役所とともに、個別ニーズの発見・把握・解決の取組、課題に対応するための地域活動の調整やサービス開発、既存活動・制度との連動を進めます。特に、個別ニーズに立脚した地域支援を展開します。

重点事業

1 身近な地域の支えあい活動の活性化に向けて

- （1）地区社協活動の推進
・住民主体で地域福祉の推進に取り組む地区社協活動を支援します。
- （2）第3期とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画・地区別計画）の推進
・新たな支えあい活動の立ち上げを支援する助成制度を新設します。
- （3）新たな社会資源の開拓およびネットワークづくり
・社会福祉法人や企業と地域とのつながりづくりや地域の助けあい活動の組織化に取り組みます。
- （4）地域ケアプラザとの一体的地域支援
・地域活動の実態把握・課題から具体的な支援展開まで地域ケアプラザと一体的に取り組めます。

2 地域における権利擁護の推進

権利擁護、法人後見、市民後見人養成・活動支援、障害者後見の支援制度が区域にて有効に機能するように取り組みます。

3 幅広い福祉保健人材の育成

- （1）ボランティアセンターの機能強化
・住民参加・協働、福祉的な視点の共有化を進め、多様なボランティア・市民活動の活性化に取り組みます。
- （2）福祉保健人材のすそ野を拡大
・福祉のしごとフェアや福祉教育、障害児者に係わるボランティアの育成に取り組めます。

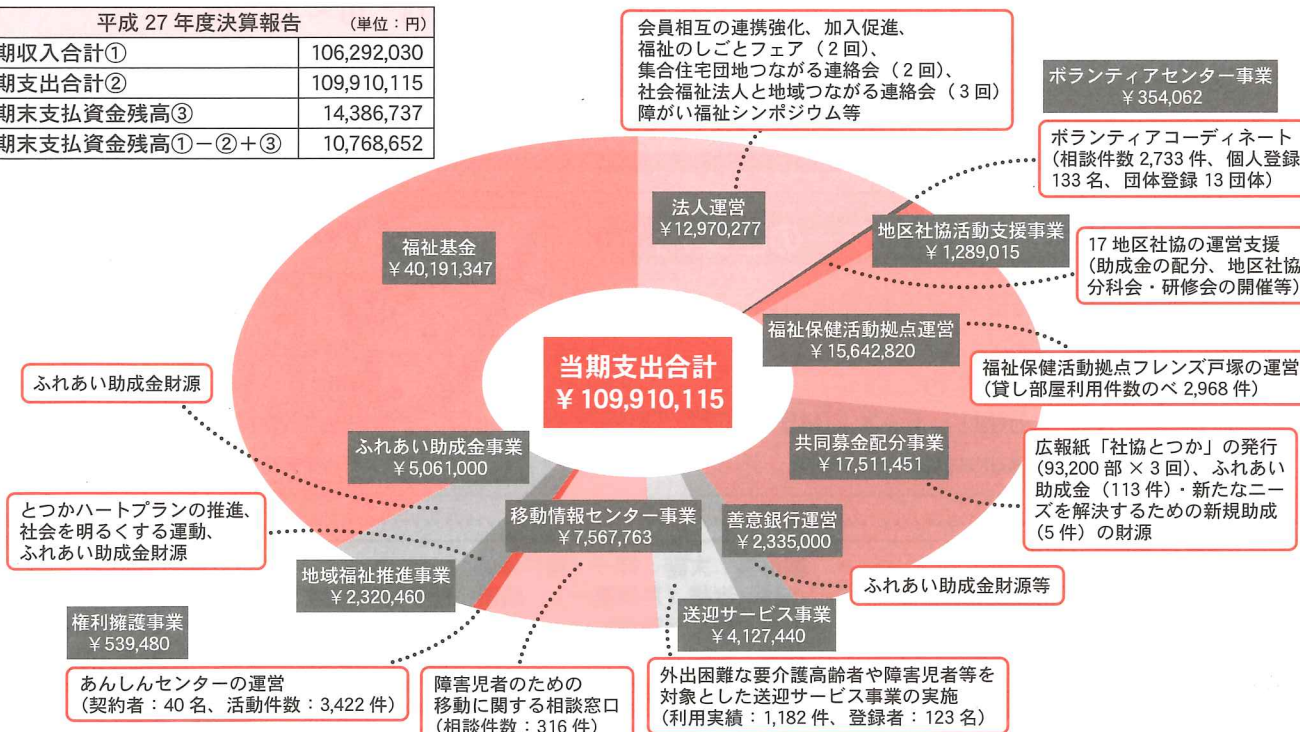
4 社協の発展に向けた運営基盤の強化

適切・効果的な運営に向け、常に事務事業を見直すとともに、組織、人材、財源等の運営基盤の強化に取り組めます。

平成28年度当初予算（単位：円）	
当期収入合計①	64,359,000
当期支出合計②	74,016,000
前期末支払資金残高③	10,403,000
当期末支払資金残高①－②＋③	746,000

平成27年度 事業報告ダイジェスト

平成27年度決算報告（単位：円）	
当期収入合計①	106,292,030
当期支出合計②	109,910,115
前期末支払資金残高③	14,386,737
当期末支払資金残高①－②＋③	10,768,652



詳しくはホームページをご覧ください <http://www.totsukashakyo.com/>

戸塚区社会福祉協議会

検索

紹介します！移動情報センター

戸塚区移動情報センターでは、移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、支援制度のご案内やサービス事業所等の紹介・コーディネートをおこなっています。また、平成28年1月より横浜市ガイドボランティア事業の事務取扱団体として、ガイドボランティアに関する支援もおこなっています。

地域ではたくさんの方が
ガイドボランティアとして活躍しています！
あなたも、ぜひガイドボランティアデビューしませんか？



東戸塚地区ガイドボランティアのみなさん

普段支援している子を
孫のように思っていて、
いつも癒されています。



柏尾地区ガイドボランティアのみなさん

日々のやりとりの中で
様々な成長の発見があって
楽しいです。

★ミニ知識

ガイドボランティアとは？

視覚障害者や肢体不自由者、知的障害者、精神障害者、難病患者等の方が外出をする際、必要となる付き添い（ガイド）を行うボランティアです。横浜市では、1回につき500円～1000円の奨励金が支払われます。戸塚区では、50名以上の方が登録し、主に普通校特別支援学級に通学する支援をしています。



ガイドボランティア研修受講者募集中！

A 発達障害の障害特性と接し方について

日時：11月14日(月)

10:00～12:00

会場：福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

B 知的障害の障害特性と接し方について

日時：平成29年2月2日(木)

13:30～15:30

会場：福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

受講申込、お問い合わせは、下記までご連絡下さい。

戸塚区移動情報センターのご案内

●相談窓口（戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階）

月曜～金曜 9:00～17:00

*土・日・祝日・年末年始を除く

電話：045 (862) 5091 FAX：045 (862) 5890

E-mail: idou-t@totsukashakyo.com



編集 後記

平成28年度社協とつか
編集会議の委員を
紹介します。
よろしくお願いします。

編集長 大副 祥一（東戸塚）	小林 孝雄（戸塚第一）	前田 明子（戸塚第二）	高崎 光弘（戸塚第三）
伊賀 博文（踊場）	中村 行雄（北汲沢）	井上 昇一（舞岡）	植木 昭彦（平戸）
岡部 光雄（川上）	野尻 恵美子（柏尾）	坂佐井 八郎（名瀬）	原野 裕子（上倉田）
高田 雅子（平戸平和台）	平野 博子（上矢部）		
稲荷 曉美（大正）	佐竹 眞吾（汲沢）		
須藤 昭生（下倉田）			